

# KOBE AWAY PRESS (仮)

For the Vissel Kobe fan of the Kanto living

Free!!

#3 リーグ戦再開号 2010.7.17 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリームソングで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESS (仮)はこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESS (仮)は関東サポーター有志により自主的に制作されています。



## AWAYかHOMEか

### 東京も我々のホームだ

徐々に私たちの活動拠点「東京」での試合が行われる。遠く離れた神戸から、私たちのチームがやってくる。サポーターとしてはアウェイ参戦だが、ここは私たちの住む街「ホーム」東京。ホームタウンにはリスペクトしよう、しかし試合までリスペクトするつもりは毛頭ない。在京神戸人総力で、アウェイスタジアムのゴール裏をホーム化したものだ。

さて、ワールドカップでの日本チームの冒険は終わりを告げた。関係者も口をそろえているが、Jのレベルが上がらなさと世界との差は縮まることはない。今回のW戦士たち…嘉人、長友、今野、そして身近で学んだであろう永井…入稿時点で出場は不明だが、彼らが伝道師となり、熱いプレーでJの方向性を指し示してもらいたい。

ここでもう一度再開されるリーグ戦に目を向けよう。入稿時点で、神戸は3勝2分7敗の勝ち点11で暫定15位。しかも、降格圏3チームとの勝ち点差はわずか2。加えてACLの関係で神戸より消化試合が1試合少ない。つまり神戸も降格圏に位置している。神戸の潜在能力を考えると現在の順位は我々サポーターにとっては極めて不満足である。現状から脱却し、1桁順位に到達するには、後半戦のスタートダッシュが必須となる。鍵を握るのはもちろん大久保嘉人。南アフリカに忘れてきたゴールを量産し、必ずや、神戸を上昇気流に導いてくれるであろう



### 2009ナビスコ予選第2節「ブゼラかよ」

基本3バックで望んだ試合。前半、東京の前線からのプレッシングにわずかに苦しみも、ボゼンションでほぼ制圧する「昨年からの変化」を垣間見せ、相手シュートを36分まで許さなかった。その後、個人突破などにより打開を図る東京に押され始めたところで前半終了。後半は立ち上り、出足のより早くなった東京に対し、ややもたついた神戸は、「東京のメツ」こと大竹にゴールを決められる。神戸はフォーメーションをより攻撃的に変化させながら「ブラジル人が不在だった」(指揮官)ことも響き、効果的な攻撃が少なくなり、そのまま終戦。この試合、東京・近藤、神戸・鈴木規の古巣対決も楽しみにしてはいたが、鈴木規への東京サポの容赦ないブイングにより、肝心の試合の印象薄さは否めず。

### 2009第33節「微妙」

神戸は13位。勝利で残留を決めて来た神戸は、松岡と小林という当時のDFスタメンを出場停止で欠く布陣であった。8位の東京は梶山と平山を欠き、お互い微妙な空気が漂う。試合の入り方は今までに無く良かったが、時間の経過とともに東京に押されてゆく。神戸も時折効果的に攻めを見せた結果0-0で前半終了。後半も立ち上がり流れは悪くはなかったが得点が入らず、引き分けも視野に入れ始めた87分、平松にJ初ゴールを許し敗戦。平松の乾杯の音頭と退団セレモニー、そして柏の結果により残留確定という「微妙」な思い出の日であった。

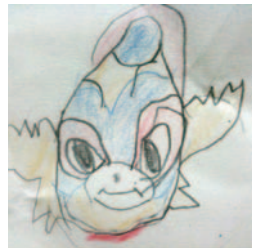
### マスコット研究所 第1回

相手チームのマスコットを愛でるのはアウェイならではの楽しみ。ってことで始めましたマスコット研究所

DATA

名前:東京ドロバ  
出身:港区麻布狸穴町(まみあなちょう)

FC東京はその名のとおりに「愛称なんていらないうぜ」という硬派なサポータに支えられたチーム。当然ながらマスコットキャラクターも長年いなかった。ところが2009年、突然現れたのが東京ドロバ。アウェイ側にもあいさつに来るマスコットが多い中、彼は絶対に来ません。それどころか、ピッチ上にもほとんど現れない。J1いちの新参者のくせにね、まったく。(ホーム側の子供連れエリアには現れるらしいです)



生意気なドロバだがサポータにはとても愛されている。硬派なおヤジサポたちがお尻にドロバのしっぽをつけてるのはなんとも微笑ましく、うらやましい光景。

神戸もモーヴィの帽子を発売すればいいのに…

え:さとうおとは 7才

### ✓ トップチーム

1 GK 榎本 達也	28 GK 嘉味田 隼	29 GK 紀氏 隆秀	30 GK 徳重 健太	2 DF 北本 久仁衛
4 DF 北本 久仁衛	5 DF 河本 裕之	14 DF 宮本 恒靖	15 DF 大屋 翼	23 DF 近藤 岳登
25 DF 石櫃 洋祐	33 DF 富田 大介	6 MF エジミウソン	7 MF 朴 康造	8 MF 松岡 亮輔
10 MF ボッティ	11 MF ポポ	16 MF 楠瀬 章仁	17 MF 吉田 孝行	18 MF 田中 英雄
24 MF 三原 雅俊	9 FW 我那覇 和樹	13 FW 大久保 嘉人	19 FW 有田 光希	21 FW 茂木 弘人
26 FW 高橋 祐太郎	27 FW 都倉 賢	31 FW 小川 慶治朗	32 FW 三島 康平	35 FW 永井 謙佑

### VISSEL KOBE2010

### 2010年度前日程

節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
1	京都サンガFC	3月 7日(日) 14:00	H ホームズ	○ 2-0	11	ジュビロ磐田	5月 8日(土) 19:00	H ホームズ	○ 3-0
2	サンフレッチェ広島	3月 14日(日) 16:00	H ホームズ	● 1-2	12	セレッソ大阪	5月 15日(土) 17:00	A 長居スタ	● 2-1
3	清水エスパルス	3月 20日(土) 13:00	A アウスタ	● 0-1	N3	モンテディオ山形	5月 22日(土) 16:00	A NDスタ	● 0-1
4	横浜F・マリノス	3月 27日(土) 14:00	H ホームズ	△ 1-1	N4	清水エスパルス	5月 26日(水) 19:00	H ホームズ	○ 3-1
N1	(ナビスコ・休み)	3月 31日(水)			N5	ジュビロ磐田	5月 29日(土) 14:00	A ヤマハ	● 0-2
5	名古屋グランパス	4月 3日(土) 16:00	A 豊田	● 0-2	N6	横浜F・マリノス	6月 5日(土) 14:00	H ホームズ	△ 1-1
6	モンテディオ山形	4月 11日(日) 14:00	H ホームズ	● 0-2	N7	湘南ベルマーレ	6月 9日(水) 19:00	A 平塚競	○ 3-2
N2	浦和レッズ	4月 14日(水) 19:00	H ホームズ	● 1-3	13	FC東京	7月 17日(土) 18:30	A 味スタ	○ -
7	ベガルタ仙台	4月 17日(土) 14:00	A ユアスタ	○ 1-0	14	大宮アルディージャ	7月 25日(日) 18:00	H ホームズ	○ -
8	川崎フロンターレ	4月 24日(土) 14:00	A 等々力	● 0-3	15	ガンバ大阪	7月 28日(水) 19:00	H ホームズ	○ -
9	アルビレックス新潟	5月 1日(土) 13:00	H ホームズ	● 1-2	16	鹿島アントラーズ	7月 31日(土) 19:00	A カシマ	○ -
10	湘南ベルマーレ	5月 5日(祝) 13:00	A 平塚競	△ 2-2	17	浦和レッズ	8月 8日(日) 18:00	H ホームズ	○ -

※印刷工程にかかる日数の関係で勝敗・得点の記載をしていない日程があります。あなたの手で日程表を完成させてください!



Free!!

# World Cup 2010 特別記念号

## 次の切符を手に入れるのは誰だ!

誰もが予想しなかった2010年ワールドカップ南アフリカ大会ベスト16。この快挙の一躍を担ったのが、大久保嘉人だ。15年に及ぶヴィッセルの歴史の中で、彼は初めて、その聖地を踏んだのである。さて、大久保に次いで、その聖地を踏める選手は、ヴィッセルから出るのだろうか?注目はU-19日本代表の嘉味田隼と小川慶治朗。この二人は今季からトップ昇格を果たし、レギュラーの座を虎視眈々と狙っている。そして、もう一人は、草津から移籍してきた都倉賢。今回の代表選手選考で、矢野貴章が選ばれた。ある意味、サプライズだったのではないだろうか?185CMの長身を生かし、ポストプレイが出来るだけでなく、豊富な運動量で自陣にまで戻り、

守備を怠らない彼を岡田武史日本代表監督は見逃さなかった。都倉は、矢野と同じFWで、身長は矢野より2CM高い187CM。多少、荒削りな面もあるが、まだ23歳である。これからの活躍次第では、彼が選ばれてもおかしくはないだろう。GK嘉味田隼、MF小川慶治朗、そしてFW都倉賢。次の開催地である2014年ブラジル大会で、彼らが活躍する勇姿を、我々ヴィッセルサポーターは願わずにはいられない。また、彼ら以外にも三原雅俊、有田光希、森岡亮太などダイヤモンドの原石は豊富である。(いつの時代にもヴィッセルの選手が日本代表にいて、ヴィッセルが今以上の人気を得ることにもなるのではないかなと思う。)



KOBE AWAY PRESS編集部員が選ぶ

## W杯ベストシーン

### ●デンマーク戦、松井へのクロス

前半、左からDFとGKの間にピンポイントクロスを放り込み、走りこんだ松井がヒールで流すもぎりぎりセーブされる。嘉人は誰とでも相性がいい。

### ●監督の迫力ではラテンアメリカの勝利

スタイリッシュな欧州の監督に比べ、マラドーナ、ドゥンガというコワモテの監督がそろったラテンアメリカ勢。なかでも一番の迫力はメキシコのアギーレ監督。日本人で対抗できるとしたら川勝さんが黒田先生(ユース監督)くらいだよ。



### ●デンマーク戦、ペナルティエリアでバイシクル

中盤から大久保→長谷部→本田→松井と美しい流れで、最後にゴール前へ飛び出した嘉人へクロス。ボール位置がやや後方高めだったためバイシクルにチャレンジ。ツネ様を驚かせるには至らず。

### ●オランダ戦、嘉人スペシャルいぶきルーレット

前半、左サイドランに沿ってファンデルビーールを瞬でかわしたターンはFIFAサイトにも取り上げられたスーパープレー。最初のトラップを失敗したから生まれたプレーというのは秘密な。

YOSHITO OKUBO 16	対戦国				PLAYER DETAILS
	Cameroon	Netherlands	Denmark	Paraguay	
得点数	0	0	0	0	Goals Scored
シュート数(うち、枠内数)	0(0)	3(1)	2(2)	1(0)	Shots(on target)
FK数(うち、得点数)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	Free Kicks Shots(scored)
アシスト数	0	0	0	0	Assisses
オフサイド数	1	1	0	1	Offsides
受タックル(うち、失った数)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	Tackles suffers(loosing)
受ファール数	6	1	2	3	Fouls Suffered
パス本数(成功本数)	14(4)	20(12)	23(16)	21(11)	Passes(complete)
走行距離(m)	9301	8681	11293	11509	Distance(m)



## ▼ KOBE AWAY PRESS(仮)からのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESS(仮)を他のお友達にすすめたいという方や自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!

KOBE AWAY PRESS(仮)のPDF版ダウンロード、および KOBE AWAY PRESS(仮)に関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。



**KOBE AWAY PRESS(仮) PDF版ダウンロード**  
<http://kobeap.rlya.jp/>  
 発行: KOBE AWAY PRESS(仮) 編集部



皆様、ご無沙汰しています。ジメジメと日照りと睡眠不足の波状攻撃、いかがお過ごしでしたか?待ちに待ったリーグ戦再開ですね。この間、私たちのチームは悪い流れを絶てたのか、注目です。4年間の集大成、皆さんにはどう映りましたか?とはいえず神戸目線は否めません。仕事柄、徹夜になれていたとはいえ眠いです!でも、素晴らしいプレーの数々と、マラドーナの一挙一動にワクワク!そんな中、今回は遠距離編集、西に東に、東海に…。最後に、忘れかけていた初心を思い出させてくれたiscさんに感謝!—それではまた、スタジアムで。(go)「トモニコウ。」